

月刊 建設

特集 快適な生活空間の創生

- 新春座談会 これからの社会資本整備における国と地方の公共技術者の在り方

岸井 隆幸 (日本大学 理工学部 教授)

島谷 幸宏 (九州大学大学院 工学研究院 環境都市部門 教授)

那須 清吾 (高知工科大学 マネジメント学部 マネジメント学科長 社会マネジメント研究所長 教授)

奥田 邦夫 (岐阜大学 社会資本アセットマネジメント技術研究センター 客員教授)



Vol.55

2011

1

社団法人 全日本建設技術協会
Japan Construction Engineers' Association

「三方良しの公共事業改革推進カンファレンス2010」開催概要報告

あお やま ひで き
青 山 秀 樹*

1. はじめに

公共事業を巡る近年の急激な環境変化のなか、行政においてはワンデーレスポンスが全国各地で展開され、一方建設会社においても工期短縮や品質向上などにおいてさまざまな取り組みがなされている。

このようななか、2007年5月8日東京で「三方良しの公共事業改革フォーラム」が開催され、色々な取り組みが報告され、この時「三方良しの公共事業改革宣言」(図-1)が宣言された。

我々は、公共事業を通じて国民の安心と国土の安全を守り、より良い社会を築くことに貢献するという重責を、改めて強く心に刻む。

発注者と施工者が、社会に最大の利益をもたらすために、「良いもの」を「より早く」提供することを目指して、一致協力し、全力を挙げて公共事業に取り組む。これによって、住民、発注者、施工者の三方に利益をもたらし、ひいては財政の健全化にも貢献する。

我々は、この「三方良しの公共事業」を力強く推進していくことを、ここに宣言する

平成19年5月8日
「三方良しの公共事業改革」フォーラム

図-1 三方良しの公共事業改革宣言

その後、図-2の三方良しの理念のもと、情報発信・啓発活動を行っていくことを目的に、2008年5月30日付けで「三方良しの公共事業推進研究会」が設立された。




-  **住民良し** 品質の良い社会資本整備と安心・安全・便利なくらし
-  **企業良し** 受発注者間の活発な情報共有で工期短縮・利益アップ
-  **行政良し** 公共事業の最大利益を生出し社会へ利益還元

図-2 三方良しの理念

2. カンファレンス2010開催概要

三方良しの公共事業改革宣言が出された2007年の第1回から数えて本年は第4回となり「国民の期待

に応える公共事業を目指す三方良し」と題し、全国建設青年会議、三方良しの公共事業推進研究会の主催、国土交通省中部地方整備局の後援のもと、名古屋で開催された。

オープニングは今や恒例となった、過去の活動記録とともにQueenの「I Was Born To Love You」の曲にのせてスタートした!

基調講演は、この活動を理論的にサポートしているゴールドラットコンサルティング日本代表 岸良裕司氏と国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 勢田昌功氏から行われた。

続いて事例発表では、中部地方整備局、京都府、建設会社(高知県)から、それぞれの熱心な取り組み状況が発表された。

最後に、座談会として住民・建設業界・行政・マスコミの代表により、三方良しにかかる思いが話された。350名収容できる開催場所の名古屋今池ガスホールは、ほぼ満席状態で熱気に包まれ、盛況のうちに終了した。

今回のカンファレンスを通じて、さらにこの活動が広まっていくことを祈念して報告とする。

なお、詳細は、三方良しの公共事業推進研究会のHPをご覧ください。<http://www.sanpouyoshi.jp/>



カンファレンス2010の様子

*国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所 総括技術情報管理官